



**自民党**

TOKAメールは 前衆議院議員 とかしきなおみの政治活動を報告しています。 <討議資料>

前衆議院議員 自民党大阪7区(吹田市・摂津市)支部長

# とかしき なおみ

とかしきなおみ後援会事務所 〒564-0026 吹田市高浜町9-16 TEL.06-6319-1535 FAX.06-6319-1536



能登半島地震の様々な対応を見ていると、私が厚労副大臣時代に熊本地震の対応をした頃から比べて格段に素早く対応できていることに驚きました。ただ、地震が起こった場所が半島なので、手が届きにくい状況となっています。しかし支援する側が先々を考えてそれぞれが自主的に動いている様子が随所に見られました。その一つがモバイルファーマシーです。

東日本大震災の経験から全国に20台を配備し、そのうちの12台が現地に駆け付け、薬を乗せた車の中で薬剤師が調剤を行いました。



慢性疾患を抱えて、薬が手元になくて不安に思っていた方々を救うことができました。

もう一つは「くすり箱」です。解熱鎮痛剤や胃腸薬、湿布薬など一般用医薬品から消毒用の備品などの一般用医薬品が入っています。この「くすり箱」が避難所に2つずつ直ぐに配布できたことでした。

## 進化している日本の災害対応!

私の地元の吹田市や摂津市でも職員さんや消防の方をすぐに派遣していましたが、その中で注目すべきは「災害マネジメント総括支援員」が吹田市から2名派遣されたことです。

全国で僅か304名しか有資格者がいませんが、吹田市は平時から2名も有資格者を育成していました。その仕事ぶりは素晴らしく、総務省から再度輪島市に派遣依頼が来るくらいでした。



「災害マネジメント総括支援員」の仕事は、被災した役所の機能を短時間で復興させるのが使命です。



松下幸之助の言葉に「非常時の気がまえと努力を、平時の気がまえとする」があります。非常時に備えるからこそ、平時が平穩に維持できるのだと常に心に刻んで行動を積み重ねるべきだと改めて感じました。

# 薬剤師『とかしきなおみ』のワンポイントアドバイス

災害に備えて「薬」で事前に準備しておくことは？  
災害時になくて困るものは、「水」「食料」の後には「薬」です。

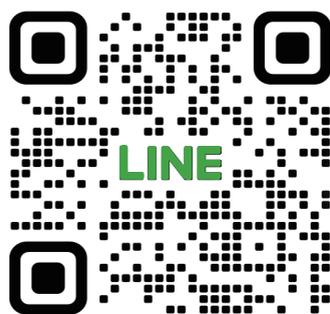
## 【薬の備えについて】

- ① 薬剤情報提供書を撮影して、携帯に映像を保存。
- ② 普段飲んでいる薬は、すぐに持ち出せるように確保しておく。  
※ 医師から 30 日分の薬を処方されたら、7 日分を非常用に分けておいて置き、次の診察で薬をもらったら、入れ替えるようにする。
- ③ 災害時は、可能であれば「マイナンバーカード」を持ち出す。
- ④ 薬で困ったら慌てず医師や薬剤師に相談！

## 【避難所でやってはいけないこと】

被災者同士、自分の薬を他人に分け与えることは、絶対行わないようにしましょう。同じ効果の薬でも、その患者さんにあわせて薬が決まっているので、効果や副作用等が強く出る場合もあります。

# SNS で応援！



こちらの QR コードを  
かざして読み取りできます！



## 【プロフィール】

1962年京都市生まれ  
昭和大学薬学部卒業（薬剤師免許取得）  
株式会社 資生堂 入社  
早稲田大学ビジネススクール卒業  
東京都杉並区議会議員連続2期  
2005年衆議院小選挙区にて初当選

## 【これまでの主な役職】

厚生労働副大臣  
環境副大臣  
衆議院 厚生労働委員長  
党 厚生労働部会長  
党 環境部会長

## LINE 登録の手順 簡単！ 3step!

LINE アプリ を開く



① を選択し  
QR コードリーダー  
 を開く



② このチラシ中段の  
QR コードを  
読み込む



③ 友達を追加  
で登録完了！



SNSで情報発信や  
活動報告をしています！



皆様が知りたい  
政治・経済について  
わかりやすく解説！  
Youtube  
とかしきチャンネル

